

平成 28 年度 入 試
個別学力試験問題(後期日程)

総 合 問 題
(法文学部法経学科)

注 意

1. 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題紙は 20 ページ，解答用紙は 2 枚，下書き用紙は 2 枚です。指示があつてから確認し，解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
3. 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
4. 答えは横書きとします。字数を指定したものは，句読点を字数に含めて数えてください。なお，数字及びアルファベットは 2 字で 1 字として計算してください(漢数字は除きます)。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 試験終了後，問題紙および下書き用紙は持ち帰ってください。

1 次の文章を読んで、後の問い(問1～問5)に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(注1) AIは、artificial intelligence。

(注2) ディープ・ブルーは、米国IBM社が開発したチェス専用のスーパーコンピュータ。

(注3) アドバンスト・チェスは、コンピュータで指し手を調べながら人間同士が戦うチェス。

(注4) アイザック・アシモフ(Isaac Asimov: 1920~1992)は、米国のSF作家、生化学者。

(注5) ニューラルネットは、脳の神経網を人工的に再現したAI。

(注6) ディープラーニング(ディープ・ニューラルネット)は、脳の情報処理メカニズム研究の成果から生まれた新たなAI。コンピュータによる音声や画像のパターン認識能力の飛躍的な向上に寄与した。

(注7) ヒューマノイドは、ヒト型ロボット。

(出典) 小林雅一『AIの衝撃—人工知能は人類の敵か』講談社現代新書、2015年、一部改変

問 1 下線部①～⑤のカタカナを漢字に直しなさい。

問 2 空欄 A に当てはまる最も適当な語句を、下記の選択肢の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- a. 称 賛 b. 敗北宣言 c. あきらめ
d. 負け惜しみ e. ねたみ

問 3 下線部(ア)について、「コープ氏は『音楽が持つ意味は、結局、それを聴く者の耳の中に宿っている』と信じるようになりました。」とは、どのような意味か。最も適当なものを、下記の選択肢の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- a. 聴き手が受ける音楽的感動の大きさは、聴き手が経験したことのある音楽であるか否かに大きく依存する。
b. 聴き手が受ける音楽的感動の大きさは、演奏される音楽が実験的であるか否かで大きく変わってくる。
c. 聴き手が受ける音楽的感動の大きさは、演奏される音楽を聴き手がどう受け止めるかに大きく依存する。
d. 聴き手が受ける音楽的感動の大きさは、古典的で精緻な音楽理論に従う作品か、自由度の高い作品かで、大きく変わってくる。

問 4 下線部(イ)「アシモフの言う『創造性』の本質」とは何か。40字以内で説明しなさい。

問 5 筆者は、AIの今後のいかなる進化が、人間と機械の関係をどのように変化させると考えているか、さらにそのときの下線部(ウ)「人間に残された最後の砦」とはどのようなものであると考えているか、200字以内でまとめなさい。

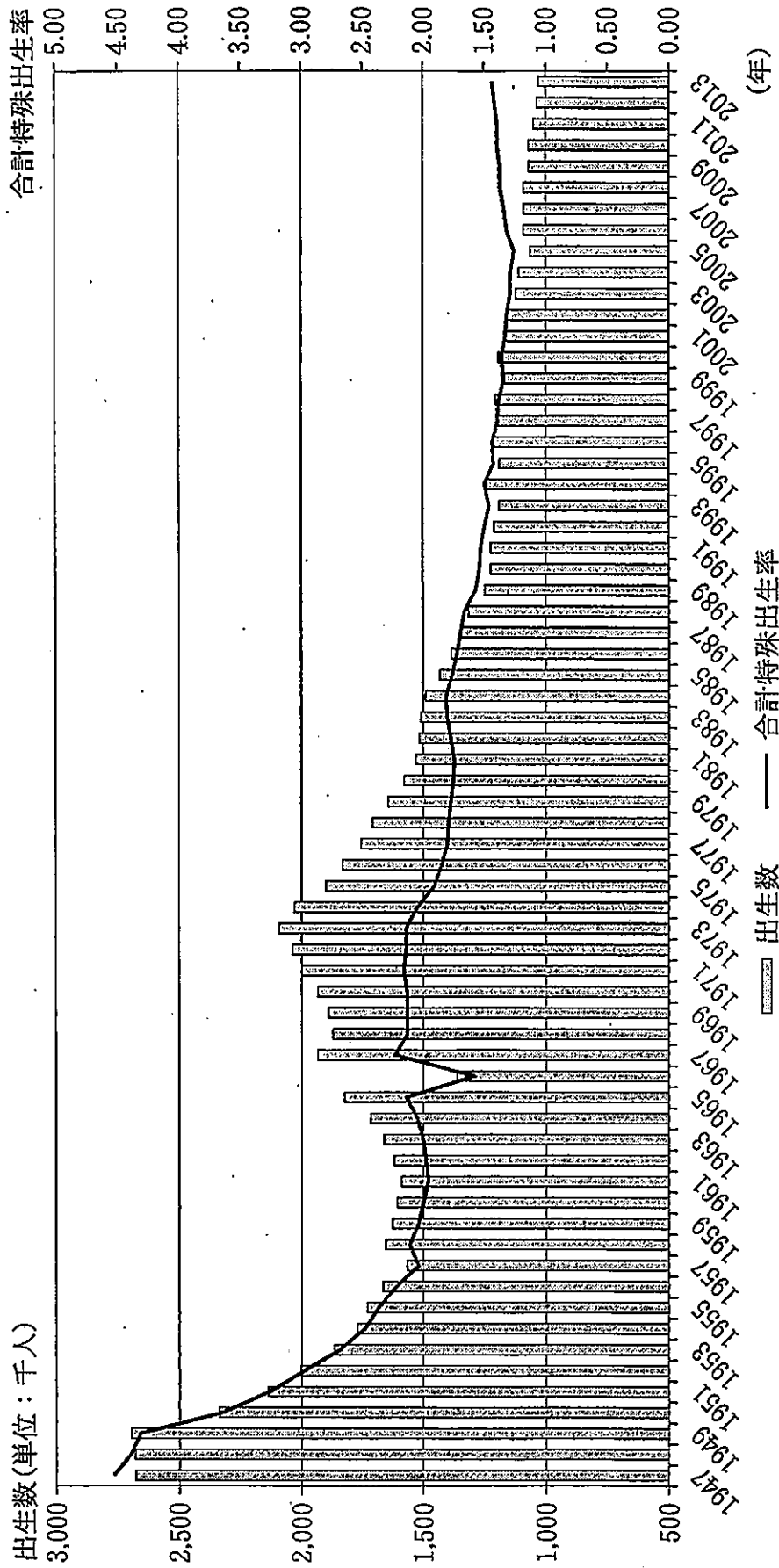
2 以下に示す図表をよく読んで、後の問い(問1～問4)に答えなさい。

問1 図表1～図表4は日本と諸外国の出生数、合計特殊出生率、および年齢別人口について示したものである。これらの図表から読み取れる特徴として、正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

(注) 合計特殊出生率とは、15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものであり、一人の女性が一生の間に生む子どもの数に相当する。

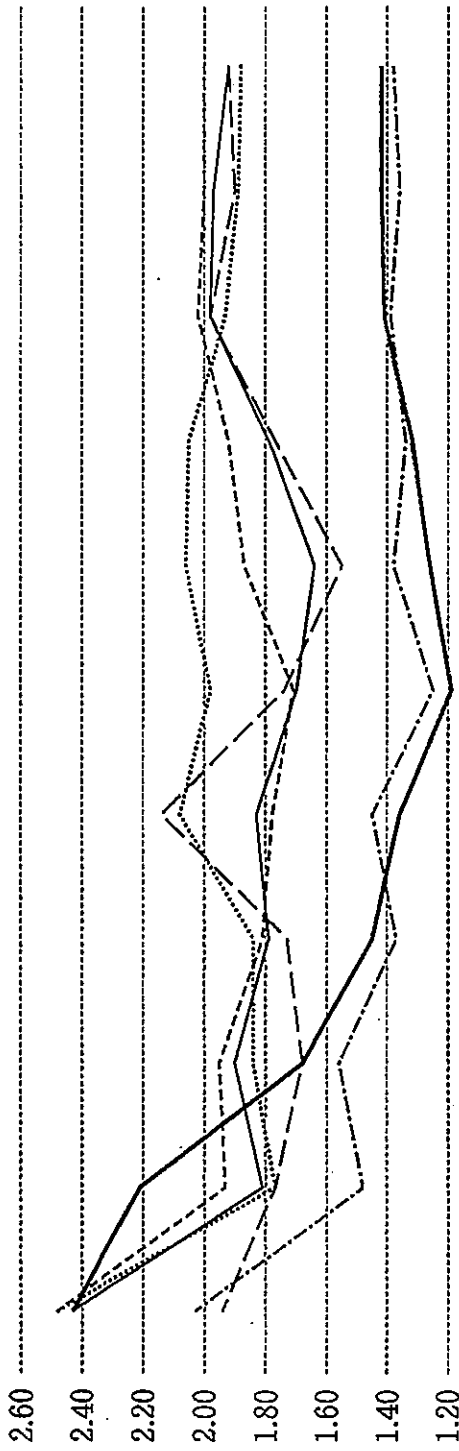
- (1) 日本の合計特殊出生率は、1947年以降最も低かった2005年から上昇傾向にあり、出生数も増加している。
- (2) 我が国の総人口に占める0～14歳人口の割合は、世界と比べて小さいのに対して、65歳以上人口の割合は大きい。
- (3) 2012年の韓国とシンガポールの合計特殊出生率は1970年から2分の1以下に低下しており、日本と比べて総人口に占める65歳以上人口の割合が大きい。
- (4) 欧米諸国では、1970年代にかけて全体として合計特殊出生率の低下傾向が強まり、2012年の合計特殊出生率はすべての国において1980年の値を下回っている。
- (5) 図表3によると、合計特殊出生率はすべての国で一貫して低下している。
- (6) 1970年以降、合計特殊出生率の最大値と最小値の差が最も大きかったのは、欧米諸国ではイタリアであり、アジアではタイである。

図表1 日本の出生数・合計特殊出生率



(資料) 内閣府『平成26年版 少子化社会対策白書』より作成。

図表2 欧米諸国の合計特殊出生率の動き

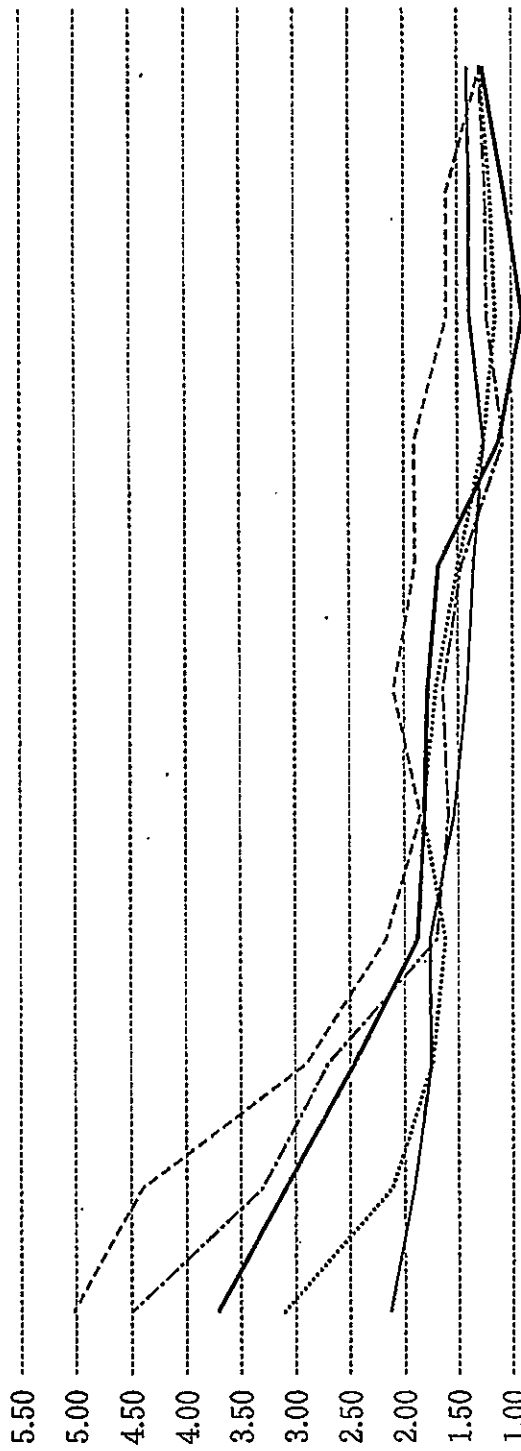


	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2011年	2012年
..... アメリカ	2.48	1.77	1.84	1.84	2.08	1.98	2.06	2.05	1.93	1.89	1.88
----- フランス	2.48	1.93	1.95	1.81	1.78	1.71	1.87	1.92	2.02	2.00	2.00
-.-.-.- ドイツ	2.03	1.48	1.56	1.37	1.45	1.25	1.38	1.34	1.39	1.36	1.38
—— イタリア	2.43	2.21	1.68	1.45	1.36	1.19	1.26	1.32	1.41	1.42	1.42
----- スウェーデン	1.94	1.77	1.68	1.73	2.14	1.74	1.55	1.77	1.98	1.90	1.92
—— イギリス	2.43	1.81	1.90	1.79	1.83	1.70	1.64	1.79	1.98	1.97	1.92

(資料) 内閣府『平成26年版 少子化社会対策白書』より作成。

(注) 折れ線グラフは表の数値を用いて作成されている。

図表3 アジア諸国の合計特殊出生率の動き



	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2011年	2012年
— 日本	2.13	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39	1.39	1.41
----- 韓国	4.50	3.30	2.70	1.70	1.59	1.64	1.47	1.08	1.23	1.24	1.30
----- タイ	5.02	4.40	2.90	2.17	1.85	2.10	1.90	1.90	1.60	1.60	1.29
..... シンガポール	3.10	2.11	1.74	1.62	1.82	1.71	1.50	1.26	1.15	1.20	1.29
—— 台湾	3.71	3.09	2.46	1.88	1.81	1.78	1.68	1.12	0.90	1.07	1.27

(資料) 内閣府『平成26年版 少子化社会対策白書』より作成。

(注) 折れ線グラフは表の数値を用いて作成されている。

図表4 日本と諸外国の年齢別人口の割合(2012年)

国名	年齢別割合(%)		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上
世界	26.6	65.7	7.7
日本	13.0	62.9	24.1
イタリア	14.0	65.7	20.3
スペイン	14.9	68.0	17.1
ドイツ	13.4	65.8	20.8
ロシア	14.9	72.0	13.1
ポーランド	15.0	71.5	13.5
スウェーデン	16.5	65.3	18.2
カナダ	16.5	69.4	14.2
イギリス	17.6	65.9	16.6
フランス	18.4	64.8	16.8
韓国	16.2	72.7	11.1
シンガポール	17.3	73.6	9.0
アメリカ合衆国	19.8	67.1	13.1
中国	18.1	73.5	8.4
アルゼンチン	24.9	64.5	10.6
南アフリカ共和国	29.7	65.1	5.2
インド	30.2	64.8	5.1

(資料) 内閣府『少子化社会対策白書(平成25年版,平成26年版)』より作成。

(注) 小数点第2位で四捨五入しているため、各国の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

問 2 図表 5 は日本の年齢階層別インターネット利用状況(個人)の推移を示したものである。この図表を見て、近年のインターネット利用動向の特徴を 100 字以内で述べなさい。

図表 5 年齢階層別インターネット利用状況(個人)の推移

(単位：%)

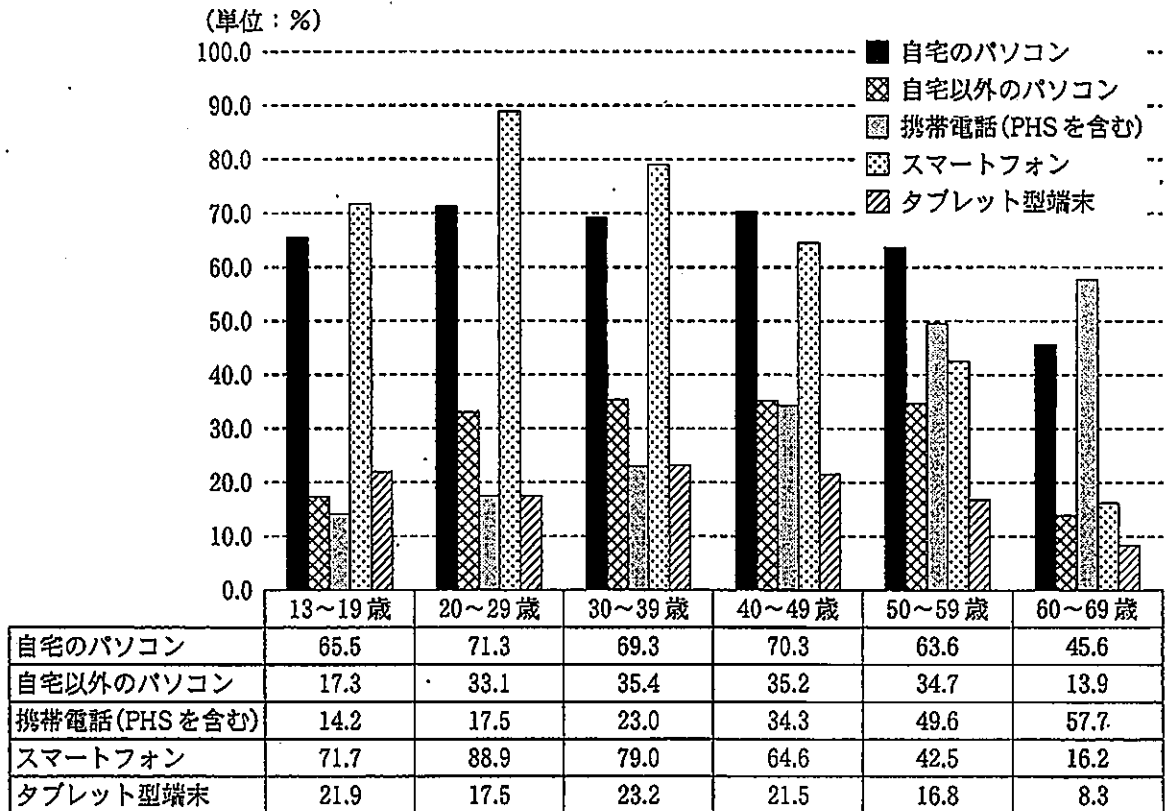
	全 体	13～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳
2010 年末	78.2	95.6	97.4	95.1	94.2	86.6	64.4
2014 年末	82.8	97.8	99.2	97.8	96.6	91.3	75.2

(資料) 総務省『平成 26 年 通信利用動向調査』より作成。

(注) 「全体」は 6 歳以上人口をさす。

問 3 図表 6 は、情報通信機器の年齢階層別保有状況(個人)を示したものである。問 2 の図表 5 と図表 6 を見て、2014 年におけるインターネット利用状況と年齢階層別保有状況の関係について、20～29 歳層と 60～69 歳層を比較しなさい。字数は 150 字以内とする。

図表 6 情報通信機器の年齢階層別保有状況(個人, 2014 年末)



(単位：%)

(資料) 総務省『平成 26 年 通信利用動向調査』より作成。

(注) 複数回答のため、合計は 100 % にならない。

問 4 図表 7～図表 9 を見て、日本と他の 5ヶ国を比較しながら、結婚と子育てに対する日本の若者の意識の特徴について、250 字以内で述べなさい。

図表 7 「早く結婚して自分の家族を持ちたい」と考える 6ヶ国の若者の比率

(単位：%)

	日 本	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
13～15 歳	30.8	19.9	17.0	13.5	13.1	13.7
16～19 歳	46.2	31.9	44.2	30.1	37.7	23.2
20～24 歳	51.4	39.3	40.3	45.5	40.4	25.5
25～29 歳	51.2	45.5	45.5	58.2	49.8	37.4
全 体	45.8	34.7	37.6	41.1	37.8	26.4

(資料) 内閣府『平成 26 年度版 子ども・若者白書』より作成。

(注) 「次のことがらがあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」との問いに対し、「早く結婚して自分の家族を持ちたい」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

図表 8 「40歳くらいになったときに結婚している」とイメージする 6ヶ国の若者の比率

(単位：%)

	日 本	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
13～15 歳	80.3	86.8	79.9	73.6	80.6	67.3
16～19 歳	62.3	81.0	76.0	62.9	80.9	71.9
20～24 歳	61.0	75.9	70.0	62.8	71.0	67.0
25～29 歳	61.9	80.5	79.3	63.6	74.6	62.7
全 体	65.0	80.6	76.0	65.0	75.7	67.1

(資料) 内閣府『平成 26 年度版 子ども・若者白書』より作成。

(注) 「あなたが 40 歳くらいになったとき、どのようになっていると思いますか。」との問いに対し、「結婚している」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

図表9 「40歳くらいになったときに子供を育てている」とイメージする6ヶ国の若者の比率

(単位：%)

	日 本	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
13～15歳	76.4	80.4	76.8	70.9	81.1	67.3
16～19歳	60.3	76.8	71.3	66.9	80.9	71.2
20～24歳	58.1	67.5	72.6	62.2	79.3	70.9
25～29歳	57.3	70.9	74.9	62.2	82.4	65.9
全 体	61.7	73.0	74.0	64.5	80.9	69.1

(資料) 内閣府『平成26年度版 子ども・若者白書』より作成。

(注) 「あなたが40歳くらいになったとき、どのようになっていると思いますか。」との問いに対し、「子どもを育てている」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。